

むらたまち

# 議会だより



健康を願って「団子さし」体験  
(小正月行事)

- 令和5年12月定例会 … 2
- ズバリ!町政を問う【一般質問6人】 … 5
- 常任委員会レポート … 12 他

Vol. **139**  
2024.2.1.

# 2億1829

## 万円を追加

健康福祉課 民生費

### 物価高騰対策給付金事業

町の全世帯の令和5年度の  
住民税均等割額が非課税で  
ある世帯

7万円(1050世帯)給付  
**7350**万円

まちづくり振興課 商工費

### 物価高騰支援事業

クーポン券配布  
全世帯に対して **5000円**  
65歳以上の高齢者  
**3000円**

**3280**万円

令和5年第6回定例会は12月12日から14日までの3日間で開催されました。条例の制定1件、条例の一部改正7件、補正予算7件、指定管理者の指定3件、工事請負契約の締結について1件を議決しました。

一般質問は6人の議員が町の考えや政策について質しました。

議案第39号

村田町営墓地設置及び管理に関する条例を

全会一致で可決

村田町には東山の墓地を含め菅生、足立、小泉、沼辺の各地域ごとに、護寺会や、その地域で墓地の運営がなされている。近年少子高齢化に伴い「無縁墓地」「墓じまい」などが多くなってきたおり、環境整備を進めながら墓地の使用を明確にし、適正な管理を行うため条例を制定するもの。

第6回定例会議案

質疑応答  
(抜粋)

■議案第39号 村田町営墓地設置及び管理に関する条例の制定について

**Q** 墓地の管理料は人口減少が進んで行く中で、年間3千円で運営できるのか。

**A** 新規での貸付は行っていないので、利用している方々での使用についての支障はない。

**Q** 使用権消滅による措置について。

**A** 今後、使用実態を調査し無縁墓地となっているところや「墓じまい」後の対応として、共同の供養塔の設置を考えている。

# 一般会計補正予算

生涯学習課 教育費

## 沼辺地区公民館耐震化・長寿命化工事

6875万円

### 工事内容

#### 建築

耐震改修・屋根改修・  
外壁改修・内壁改修・  
天井改修・床改修・  
建具改修 外一式

#### 電気

電灯設備改修(照明  
LED化外)一式

#### 機械設備

空気調和設備改修・換気設備改修・衛生器具設備改修・  
給排水設備改修 外一式



A

請負業者と協議を重ね、短期間で完了するように検討する。

Q

公民館は、地域のコミュニティや災害時の避難所となることから、当初予算で措置されたものであり年度内に完結すべきではないか。

A

最近の建築資材の高騰や人件費の高騰及び耐震改修工事の特殊性等もあり、その結果、入札の不調になったものと理解している。

Q

参加業者が1社で入札回数が3回不調となり、結果的に随意契約となった理由はなにか。

■議案第57号 工事請負契約の締結について

A

この道路は町道となっているが現時点での改修は考慮していない。

Q

東山墓地内の町道は狭隘で車利用に支障があるが改修の考えはあるか。

# 令和5年第6回 定例会の議案と採決結果

議案名	採決結果
<b>条例（制定・一部改正）</b>	
■議案第39号 村田町営墓地設置及び管理に関する条例の制定について 地方自治法の規定に基づき、村田町営墓地の設置及び管理に関し必要な事項を定めるもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第40号 村田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 地方自治法の改正に伴い条例を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第41号 議会の議員報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告を受け議員報酬等を一部改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第42号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告を受け特別職の給与等を一部改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第43号 村田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告を受け村田町職員の給与等を一部改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第44号 村田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 勤労手当の支給に伴い一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第45号 村田町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産 税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 課税免除期間の2年延長に伴い期間を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第55号 村田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 出産被保険者に対する国民健康保険税の減額について改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
<b>補正予算</b>	
■議案第46号 令和5年度村田町一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億639万6千円を追加するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第47号 令和5年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ21万円を追加するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第48号 令和5年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ161万1千円を追加するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第49号 令和5年度村田町上水道事業会計補正予算（第1号） 上水道事業会計予算の収益的収入及び支出の予定額を補正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第50号 令和5年度村田町下水道事業会計補正予算（第1号） 下水道事業会計予算の収益的支出の予定額を補正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第51号 令和5年度村田町工業用水道事業会計補正予算（第1号） 工業用水道事業会計予算の収益的支出の予定額を補正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第56号 令和5年度村田町一般会計補正予算（第7号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1188万9千円を追加するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
<b>指定管理者指定</b>	
■議案第52号 指定管理者の指定について 指定管理施設 村田町デイサービスセンター 指定管理者に指定する団体 社会福祉法人柏松会 指定期間 令和6年4月1日から令和9年3月31日まで	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第53号 指定管理者の指定について 指定管理施設 村田町老人憩の家 指定管理者に指定する団体 社会福祉法人村田町社会福祉協議会 指定期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第54号 指定管理者の指定について 指定管理施設 姥ヶ懐民話の里ふるさとおとぎ苑 指定管理者に指定する団体 一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター 指定期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	原案可決 賛成 11：反対 0
<b>工事請負契約締結</b>	
■議案第57号 工事請負契約の締結について 令和5年度沼辺地区公民館耐震化・長寿命化工事請負契約を締結するもの	原案可決 賛成 11：反対 0



- **高橋 勝 議員** (6ページ)
  - 1.宮城オルレ村田コースについて
  - 2.町営川畑住宅・町営石生住宅老朽化対策等の推進について
- **加藤喜太郎 議員** (7ページ)
  - 1.町民体育館使用者の安全について
  - 2.村田町立村田小学校附属体育館使用時の駐車場について
- **山家 寛二 議員** (8ページ)
  - 1.旧村田第三小学校跡地の活用について
- **山家 大 議員** (9ページ)
  - 1.人口減少の影響と交流人口の拡大
  - 2.夏休み期間の小学校プール開放の継続を
- **大沼 吉隆 議員** (10ページ)
  - 1.令和6年度予算編成の主眼は
- **菊地 睦夫 議員** (11ページ)
  - 1.町営川畑住宅に安全対策を

#### 一般質問とは?

一般質問とは、議員が町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

# 宮城オルレ村田コース について



高橋 勝 議員

**質問1**  
13・5kmのコース維持・管理は。

**町長答弁**  
当面は直営でのコース管理に加え、ウォーキングイベント時に点検実施や、地域おこし協力隊によるパトロールを検討している。

**質問2**  
維持、管理年間予算の総額は、宮城県からの補助はあるのか。

**町長答弁**  
宮城オルレ他のコースの管理状況から、50万円から100万円程度想定しており、町負担となり、補助はない。

**質問3**  
宮城オルレ村田コースで、年間を通じての行事などの計画があるのかどうか。

**町長答弁**  
宮城県の各コースの自治体と連携し、毎年スタンブラリー開催など行い、宮城オルレフェアを開催している。健康増進に向け、年に数回のウォーキングイベントの開催を検討している。

**町営川畑住宅・町営石生住宅老朽化対策などの推進について**

**質問1**  
木造の町営川畑住宅・石生住宅は安心で安全に住居できなければならぬが、耐震などに問題はないのか。

**町長答弁**  
築40年が経過し老朽化が進んでいるものと認識している。町営住宅全体を見ても空き家が年々増えている。町営住宅全体の適正配置を視野に入れ、持続可能な町営住宅の在り方を検討し、年1回対面し、入居者の要望に応じた修繕や設備の交換などを実施して安全で安心して居住していただけのように努めていく。

町営石生住宅



**質問2**  
町営住宅の立て替え計画はないのか。

**町長答弁**  
移住定住促進の動向を含めた人口減少対策、低所得者への住宅提供の在り方など、総合的な需要と供給のバランスを踏まえた取り組みが重要となり、少子高齢化時代に沿った持続可能な町営住宅の在り方を基本に努めていく。

オルレ村田コース





加藤喜太郎 議員

## 町民体育館と 旧三小体育館駐車場の安全に ついて伺う

### 町民体育館使用者の 安全について

質問

現在、町民体育館使用者

は、A面B面に分かれて使用しているが、球技と他の競技が一緒になった場合、球技使用面からボールが飛び出すことがあり危険だ、体育館使用者の安全を考えれば、センターネットもしくは、隣にポールが行かない設備が必要ではないか

と思うが、町長の考えを伺う。

教育長答弁

村田町民体育館は構造上、センターネットが張ることが出来ない。また定期使用団体は2つが同時に使用することがない、もし使用する場合は十分に注意喚起を促している。今後検討したい。



村田町民体育館

### 旧三小体育館使用時の 駐車場について

質問

旧三小体育館使用時に

は、裏手の砂利駐車場を使用しているが、夜間になると街灯も少なく暗い、また11月5日にはイノシシが出たとも聞いている。そこで校庭の一部を駐車場にするなど、町としての対策を講じる考えはあるか。

追質問

小泉公民館駐車場は使用

できないと聞いていたが、夜間であれば生涯学習課に連絡を入れれば使用できるということではないのか。

生涯学習課長答弁

連絡をいただければ夜間の使用に問題はない。

教育長答弁

グラウンドコンディションのためにも、校庭の駐車場利用は控えていただきました。夜間時は生涯学習課に連絡すれば小泉地区公民館が使える。



村田小学校附属体育館(旧三小体育館)

# 旧村田第三小学校の活用について伺う



山家寛二議員

## 旧村田第三小学校跡地の活用について

### 質問

旧村田第三小学校跡地利用はどのように検討されているのか。

### 町長答弁

この地域は、平成11年4月に指定を行った村田町都市計画用途地域により第1種中高層住居専用地域に指定されており、店舗や工場等の建築物について一定の制限が設定されています。

現在の都市計画法に基づく用途地域は、平成20年5月に変更し15年が経過しており、用途地域の検討が急務と判断しております。

都市計画マスタープラン及び用途地域の見直し、農業振興地域整備計画の見直しについて令和5年度から令和6年度の2か年に

わたり、計画見直し及び策定にむけて作業を進めている。

### 質問

これまでにあった跡地利用の相談内容と件数は。

### 町長答弁

福祉施設等、数件の話があったが、都市計画用途地域指定区域であるため、実質的な進展はない。



旧第三小学校舎



校舎の玄関前付近の亀裂

### 追質問

これまで「一般社団法人ふくのね」で活用していましたが、退去した要因は何か。

### 財政課長答弁

旧第三小学校は、耐震強度に問題があり、隣の子育て支援で使用していた場所に移転した。



山家 大 議員

# ■人口減少の影響と対策

## ■夏休みの学校プール開放 教育委員会主体で継続を

**Q、交流人口拡大のねらいは**

**A、経済効果や地域活性、町の認知度向上で定住に繋げる**

町長の所信表明では、交流人口の拡大を重点項目にあげている。そこで質問する。

**質問1**

人口減少が町に及ぼす影響は。

**町長答弁**

商業活性化度の低下、労働力不足、社会保障の負担増、地域社会の縮小、公共サービスの制約など。

**質問2**

交流人口拡大の効果と具体的な施策は。

**町長答弁**

町の活性化や経済向上効果、また町が認知され将来の定住に繋がる。

施策として布袋まつりでの飲食やステーション、宮城オルレ村田コースのオープンなど、資源活用や新たな観光資源開発を行っている。

**追質問**

継続的に地域と関係を持つ関係人口の創出も注目されているが、交流人口の拡大に取り組む理由は。

**まちづくり振興課長答弁**

交流人口拡大は経済効果や地域活性の他、やりがいや意欲向上からの新規事業の創出、また定住にも発展すると考えている。

**追質問**

観光客の数値目標は。

**まちづくり振興課長答弁**

数値目標はないが、オルレでは海外からのツアー提案もある。それらを活用し誘客を進める。

**追質問**

町民が気軽に出店でき

るイベントを主催すれば、より活性するのでは。  
**まちづくり振興課長答弁**  
今後、検討していく。

**Q、好評だった教育委員会主体のプール開放、継続を**

**A、安全面の課題があり継続は検討中**

**質問**

夏休みの小学校プール開放を教育委員会主体で始めた経緯とその評価、今後の対応は。

**教育長答弁**

国の指針では地域社会で担う業務と示しているが、実質学校が担っており教員の業務量増大で困難なため、教育委員会主導で試行的に実施。開放期間5日間で延べ660名の児童が利用し成果があったと評価。一方で道中の熱中症、混雑時の



村田小プールでは期間中延べ481名の児童が訪れた

低学年への支援、監視員の体制などの課題があり来年度以降は検討中。

**追質問**

監視業務の委託先と費用は。

**教育総務課長答弁**

委託先はむらたスポーツクラブ、委託料11万5千円で内訳は9割人件費、時給千円。1日あたり各校2名計4名派遣（このほか教育委員会から1名ずつ従事し、監視員は各校3名体制）。

# 令和6年度予算編成の主眼は 町長 福祉の増進、町の振興発展に つながる施策の展開



大沼吉隆 議員

質問1

令和6年度の町政運営にあたり、町民の福祉向上に向けた住民ニーズに沿った新たな投資と、既存事業の様々な課題解決に向けた施策をどのよう  
に捉え、予算編成の主眼をどこに置くのか。

町長答弁

令和6年度の予算については、「定住・交流人口の増加に向けた施策の展開」、「子育て支援や教育環境の充実」、「老朽化が進む公民館・町民体育館をはじめとした公共施設の改修」  
「年々頻発化・激甚化する災害への備え」などの施策に主眼を置いた予算編成に努める。

質問2

令和5年度財政健全化計画の財政収支について、今後の財政見直しを立てながら見直しも必要ではないか。

町長答弁

過日の全員協議会で説明した。令和5年度の財政見直しについても、9月補正後時点の予算額をベースに見直しを行った。見直し後の財政収支は、59億円調整基金に依存しない収支が維持できるよう努める。



(企業誘致関連)現在、14企業の工場が操業中の村田工業団地

# 「交流人口の拡大」と「企業誘致」の 取り組みは

## 町長 都市計画及び農振地域の見直しを検討

質問3

「交流人口の拡大と企業誘致推進」の取り組みについて、都市計画マスタープラン及び用途地域の見直しと、農業振興地域見直しを関連付けた町づくりの展望が必要と思う。取り組みにあたり、具体的な施策内容と新年度での予算措置が伴うものか。

町長答弁

令和5年度から都市計画マスタープラン及び用途地域の見直しと農業振興地域の見直しについて、委託業務契約を複数年の負担行為により予算措置し取り組んでいる。

現在、現況調査業務をおこなっている。次年度は、その結果に基づき具体的区域の見直しと、施策の方針を検討する予定である。



菊地 睦夫 議員

# 町営川畑住宅に 安全対策を

全国的に人口減少する中、村田町でも65歳以上の老年人口が増加する一方です。

そこで第5次村田町総合計画の「安心して豊かに暮らせるまちむらた」を目指しての中に高齢者福祉の充実や高齢者の生きがいづくり等の高齢者社会への早期対応等を早急に進めていくことが求められていますとあります。

現在、町営川畑住宅に入居している方が日常生活のために、外階段の昇り降りをしている途中に転倒したこともあり体調を崩した方もおります。

住宅は道路から住宅の入り口まで、階段1段の高さは20センチメートルで平らな所は30センチメートルとなっており、その部屋によって異なりますが階段5段から10段をのぼって部屋に入ります。また、手すりがないため日常

生活において非常に危険であり道路に付随しているU字溝の蓋にも段差があり蓋の間隔も大きく、足場の悪いこのような状況で日常生活を送るのは若い人でも大変だと感じます。

高齢者の方ならなおさらこれからの冬の季節には凍結や積雪もあり、ゴミ出しに行く場合でも危険で不安だと思えますので、質問します。

## 質問1

町営川畑住宅に入居している方が安心して暮らしやすい日常生活を送るため、外付け手すりやU字溝蓋設置等の安全対策をすべきと思えますが町長の考えを伺います。

## 町長答弁

町営住宅入居者全世帯を対象に収入申告と併せ、年1回対面を基本とした町営

住宅の相談・要望等を直接伺う機会を設け、随時、修繕や設備の交換などの対応を実施しており、入居者の方々が少しでも安全で安心して町営住宅に居住いただけるよう努めております。

これまで、川畑住宅に入居されている方々の多くは玄関ではなく南側の居間から出入りをされることが多いとの実態を伺っておりましたし、直接、手すりや側溝蓋のご要望等を伺ったことはございませんでしたが、高齢者の方が多く入居されている状況も承知しておりますので、安全な動線のあり方を含め、入居者の方々と相談しながら安全対策の手立てについて検討してまいります。



足場の悪いU字溝蓋



手すりのない階段

# レポート

## 町税の賦課・徴収について (11月14日実施)

### 総務常任委員会

#### 町税(普通税)

- 個人町民税 ●法人町民税 ●固定資産税 ●軽自動車税(種類別・環境性能割)
- 町たばこ税(目的税)
- 入湯税 ●固定資産税 ●国民健康保険税 40歳未満(医療分・後期分) 40歳以上 65歳未満(医療分・後期分) 65歳以上 75歳未満(介護分) 65歳以上 75歳未満(医療分・後期分)

以上が町民の所得や資産の状況により賦課・徴収されている税金の種類となっています。

#### 近年の町税徴収状況

税目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
町民税	466,607	445,244	482,456
固定資産税	676,227	691,832	765,045
軽自動車税	42,650	43,152	45,233
町たばこ税	91,679	101,182	109,282
入湯税	589	0	0
合計	1,280,725	1,284,410	1,356,783

#### 町税の徴収率及び収入未済額と不能欠損額

令和四年度の町税の徴収率は99.4%となっており、高い徴収率を達成しています。収入未済額約4千3百万円、不能欠損額29万5千円となっています。

#### ○委員会所見

町の一般会計予算、約60億円の内自主財源である町税は約14億でその約3割をしめている重要な財源となつている町税の納付については町民の税に対する理解と納税意識の向上を図り、徴収率の向上を図つて行くことが求められています。

今後も求められるインフラ整備や行政サービスのさらなる向上を図るには財源が必要となることから、滞納や不能欠損等については滞納者の不測の事態により徴収が困難となるため発生することになるが滞納の早期の段階で対策を立て収入未済や不能欠損などに至る前に徴収できるようにしていく必要があります。

また、収納については24時間営業しているコンビニの有効活用やカード決済も考えて行かなければならない。

町税吏員にあつては高い専門性が求められることから、各種の研修に参加して詳しい税の知識と課税、徴収の知識や技能の習得を図つて行かなければなりません。

## 企業誘致について (11月20日実施)

### 産業建設常任委員会

#### ○調査結果

#### 1. 町の現状

村田町には、東北自動車道村田インターチェンジ、菅生スマートインターチェンジ、山形自動車道村田ジャンクションがあり、県道岩沼蔵王線の姥ヶ懐トンネルが令和元年に開通し東北自動車道から仙台空港までアクセスが良好になつている。また、東北新幹線や、仙台港、仙台空港など、陸海空の交通網が一体となつて生み出す相乗効果は、首都圏との往来にかかる時間短縮はもとより東北全体の活性化につながるものです。

#### 2. 企業立地セミナーについて

宮城県内各市町村で構成する企業立地セミナー実行委員会に加入し、首都圏及び中京圏に誘致PR活動を行った。

#### 3. 工業統計について

「宮城県の工業(工業統計調査令和2年)」による村田町の事業数は、村田工業団地を中心に町内28社

(従業者4人以上の事業所)が操業し、1,326人の従業員が勤務している。

#### 4. 新たな工業団地について

現在、農林課、建設水道課により、土地利用計画の現状調査中であり村田の地理的要因を活用した、工業用地の選定を検討中である。



昨年開通した菅生スマートIC

#### ○委員会所見

令和元年開通した県道岩沼蔵王線の志賀姥ヶ懐トンネル開通後は、周辺地域へのアクセスもさらに良好になったことと、最近の県内への企業進出が追い風となつており、広域的な取り組みとして、今後とも企業立地セミナー等でのトップセールス効果を期待したい。

# 常任委員会

## 社会教育(成人、女性教育及び青少年教育)の振興について(11月15日実施)

### 教育民生常任委員会

#### 主な社会教育事業

- ①成人教育・女性教育
  - ◆仙南青年文化祭 in まるもり
  - ◆地域ボランティア等研修会
  - ◆地区婦人団体の指導、育成
    - ※婦人団体は減少傾向
  - ◆村田町民文化祭
    - ※3年ぶり開催。展示・発表ともに減少。
- ②青少年教育
  - ◆ジュニアリーダー活動
    - ※野外活動体験・お祭り参加など
  - ③その他
    - ◆協働教育
      - ※むらたつ子応援団事業
    - ◆少年教育
      - ※体験学習・野外体験活動・発見合宿・お祭り参加など

#### ○委員会所見

少年・青少年教育では引き続き村田町の文化を活かした活動に取り組み、

村田町では少年教育事業に力を入れている。少年期から地域活動に参加することで将来的に地域で活躍する人を育むのがねらい。

農業体験の全児童生徒体験や、歴史みらい館から学校への図書貸出の実現も期待する。また、学校や子ども会を活用し各地区の伝統芸能の再興も図っていたきたい。

文化祭では展示数・発表数が減少しているが継続を求む。

減少する婦人団体だが、女性ならではの力は不可欠であり、存続のため中身のある事業や、目的を持った新たな団体の設立も必要。

むらたつ子応援団事業では、登録者が均一に事業に携われるよう配慮を。

ニーズを検証し趣向を凝らした事業や重点的な少年教育の取り組みなど、今後この方向性で進めていきたい。



### 議員研修を受講して

町村議会議員講座が1月16日に宮城県自治会館で開催され、県内の町村から102名が参加しました。講師は中央学院大学教授 福嶋浩彦氏を迎え、テーマは「災害時の議会・議員の役割」です。内容は「大規模災害時に議会の最大の仕事は、住民にどんな不安や生活の支障が生じているかを丁寧を集め、議員間で討議を行い、解決に向けた施策を考え決定することが重要である」ということです。近年、災害が多い中、大規模災害やパンデミックなどの非常時に、今回の研修で学んだことを肝に銘じ、しっかりと対応していきたいと思えます。



講師の福嶋浩彦氏



102名の参加者



受講風景

## わたしの思い

### 「友だちからもらった言葉」

さとう ゆみこ  
佐藤 由美子さん(本郷)

私は、村田町に嫁いで来てから、四十五年が経とうとしています。何も分らないことばかりで夢中で生活しているように感じます。

三人の子供たちに恵まれ、地区の子供会やお精進などに参加させていただきました。子供たちが大きくなるまで、地区の行事に積極的に参加したこと、たくさんの方との交流をもつ事ができました。

子供たちも成人を迎えた頃に、私はリュウマチを発症し、とてもつらい時期がありました。休む日も多くなり職場に迷惑を掛けられないと思ひ、辞めることばかりを考えていました。そんな時に職場の友人が私の身体を気にして自宅に来てくれました。前向きな言葉を掛けていただき、沈んでいた気持ちに友人の言葉で変わっていききました。リュウマチの痛みなどありましたが、家族や友人の支えがあり、職場に復帰する事ができました。現在も仕事を続けています。私は、本当に友達に恵まれてお

り、「お母さんは、幸せだよ。お友だちがたくさんいてくれて、私たちも安心だよ。」と子供たちから言われます。

様々な形での交流を通して、すてきな友達に出会い、そして今もお付き合いさせていただいている事に感謝の気持ちでいっぱいです。

友人と一緒にランチを食べに行ったり、買い物や、旅行へ出かけたりする事が、今楽しみの一つです。

また、孫の成長も楽しみの一つであり、少年野球の応援や新体操の発表会などの孫の活躍も私の元気の素になっています。

一時は、医者からリュウマチの宣告を受け、どうしようもなく落ち込んでいた自分がいましたが、友人からもらったあの言葉があったからこそ、今充実した毎日を過ごしています。

これからも、この地域の皆様とともに微力ではありますが、貢献活動のお手伝いができるかと思ひます。

## 次の定例会は3月5日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継にて配信しております。

村田町ホームページアドレス(下記)より

<https://www.town.murata.miyagi.jp/>

コンテンツ「議会」から「議会中継」へアクセスしてください。

本会議の日程については、町ホームページの「本会議開催予定表」で詳しくお知らせしています。

### 村田町議会公式Facebookはじめました

詳しくは議会事務局まで TEL 83-6410

## 編集後記

今年、元日から能登半島地震が発生し、石川県を中心に甚大な被害が出ております。

震度7は、東日本大震災以来の大震災であり、私たちにも13年前の震災の記憶が蘇るようで、今はただ被災地の方の安全と、少しでも早い復興復旧を祈るばかりです。

新年早々暗いニュースから入ってしまいました。それでもあるべき事をしっかり伝えて、わかりやすく読んでいただける、そんな議会だよりを1年間作っていききたいと思います。

議会広報編集特別委員会

委員 加藤喜太郎

発行・編集責任者  
議長 遠藤 実  
議会広報編集特別委員会  
委員長 高橋 勝二  
委員 長 山家 寛太郎  
副委員長 藤喜 太廣  
委員 員 加藤 久保  
委員 員 大 山 家 大宏  
委員 員 山 鈴木 信夫  
委員 員 鈴木 正陸  
委員 員 上 村 登